



2012年3月期 決算説明会

シスメックス株式会社

代表取締役社長 家次 恒

2012年5月10日

本日の内容

Chapter 1 2012年3月期 決算総括

Chapter 2 2013年3月期 業績予想

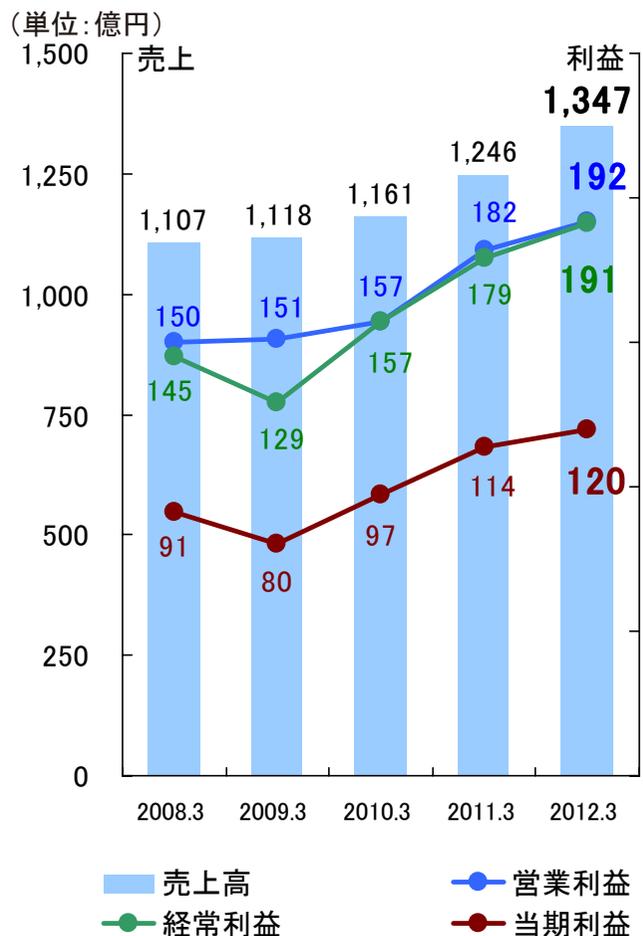
本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

Chapter 1

2012年3月期 決算総括

決算総括

売上高:12期連続増収、営業利益:11期連続増益
 — 売上高、全ての利益において過去最高を達成 —



(単位:億円)

	2012年3月期		2012年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	公表*	構成比	実績	構成比	
売上高	1347.4	100%	1340	100%	1246.9	100%	108.1%
売上原価	516.5	38.3%	—	—	463.8	37.2%	111.3%
販売費及び一般管理費	638.8	47.4%	—	—	600.1	48.1%	106.4%
営業利益	192.0	14.3%	185	13.8%	182.8	14.7%	105.0%
経常利益	191.3	14.2%	180	13.4%	179.7	14.4%	106.4%
当期純利益	120.0	8.9%	115	8.6%	114.1	9.2%	105.2%

※公表数値は2011年11月修正

- 売上高: 大幅な円高にもかかわらず、国内・海外ともに増収
- 営業利益: 円高の影響により原価率が悪化したが、増収効果により営業利益は増益
- 営業外損益: 為替差損 4.0億円 (前年同期 8.8億円)

	2012年3月期	前年同期
1USD	79.1円	85.7円
1EUR	109.0円	113.1円

➤ 円高の影響 売上 △44.5億円 営業利益 △31.3億円

※前年同期為替レート適用の場合:

前年同期比 売上高 111.6%、営業利益 122.1%

設備投資 79.0 億円 減価償却費 70.3 億円 研究開発費 119.0 億円

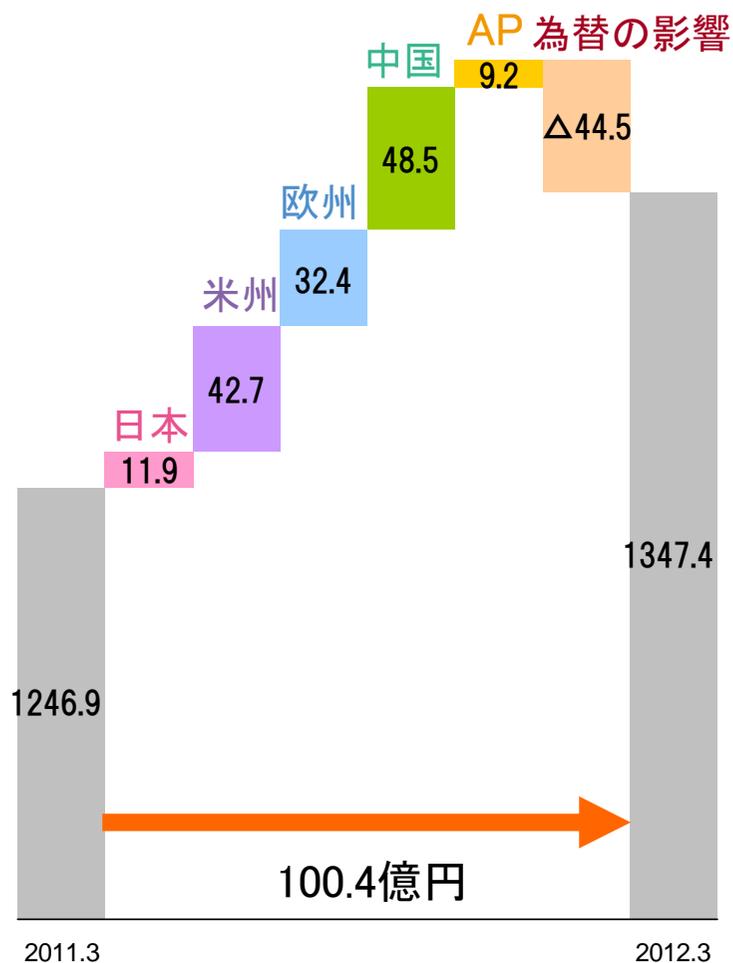
売上高・営業利益の増減要因



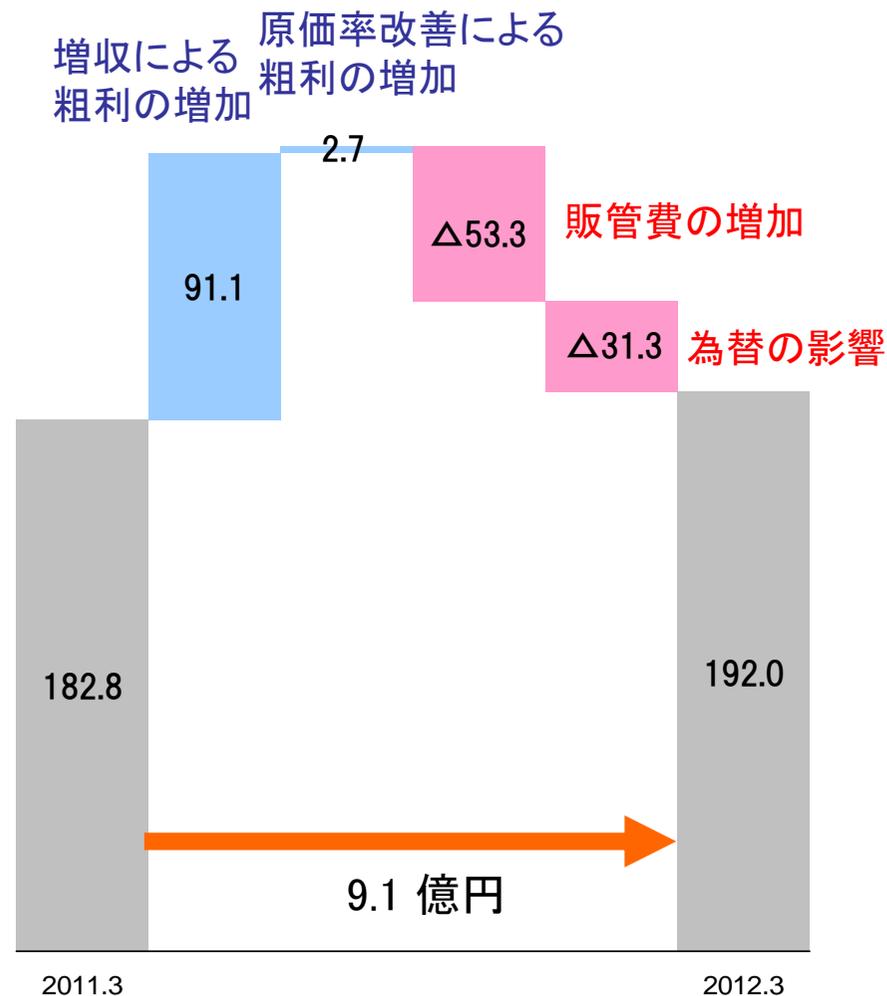
(単位: 億円)

売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



営業利益

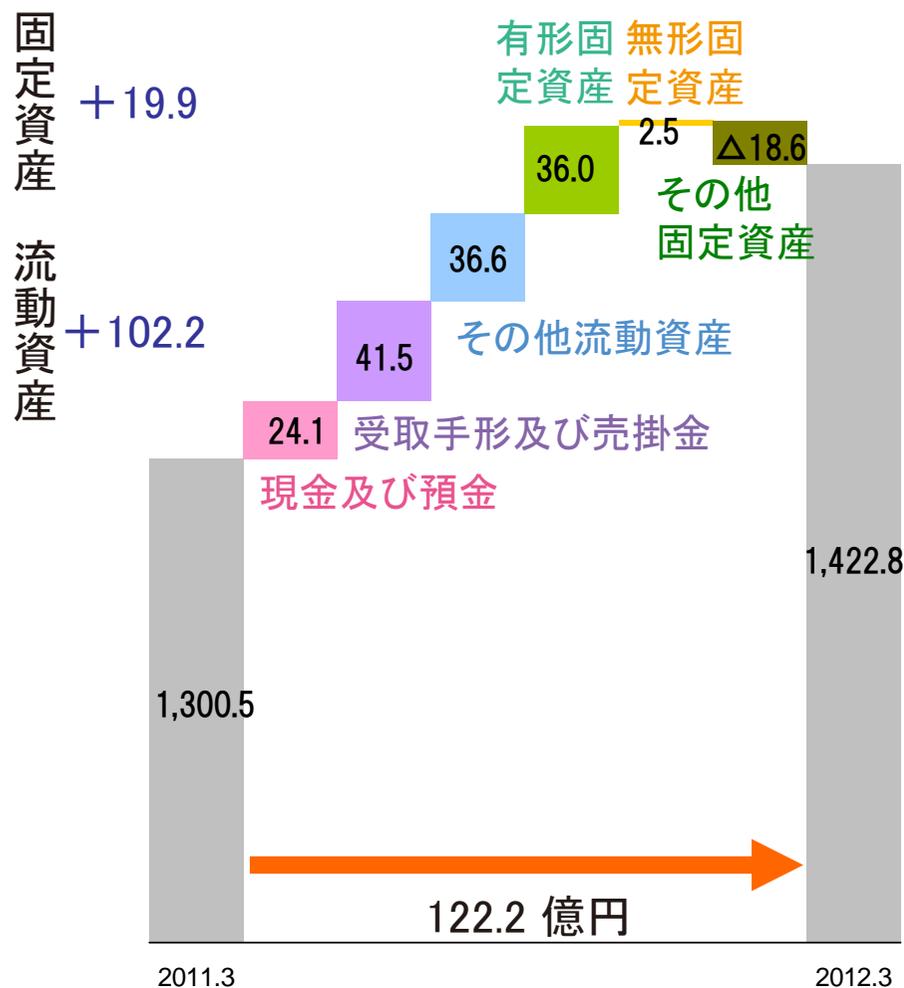


貸借対照表の増減要因

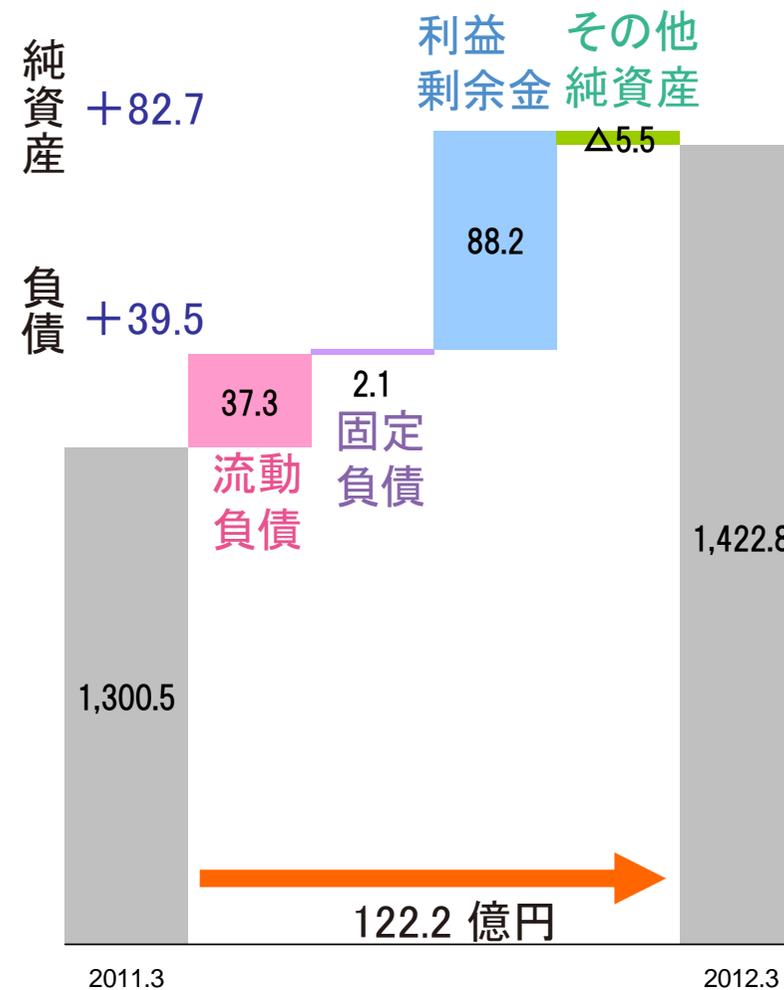


(単位: 億円)

資産の部



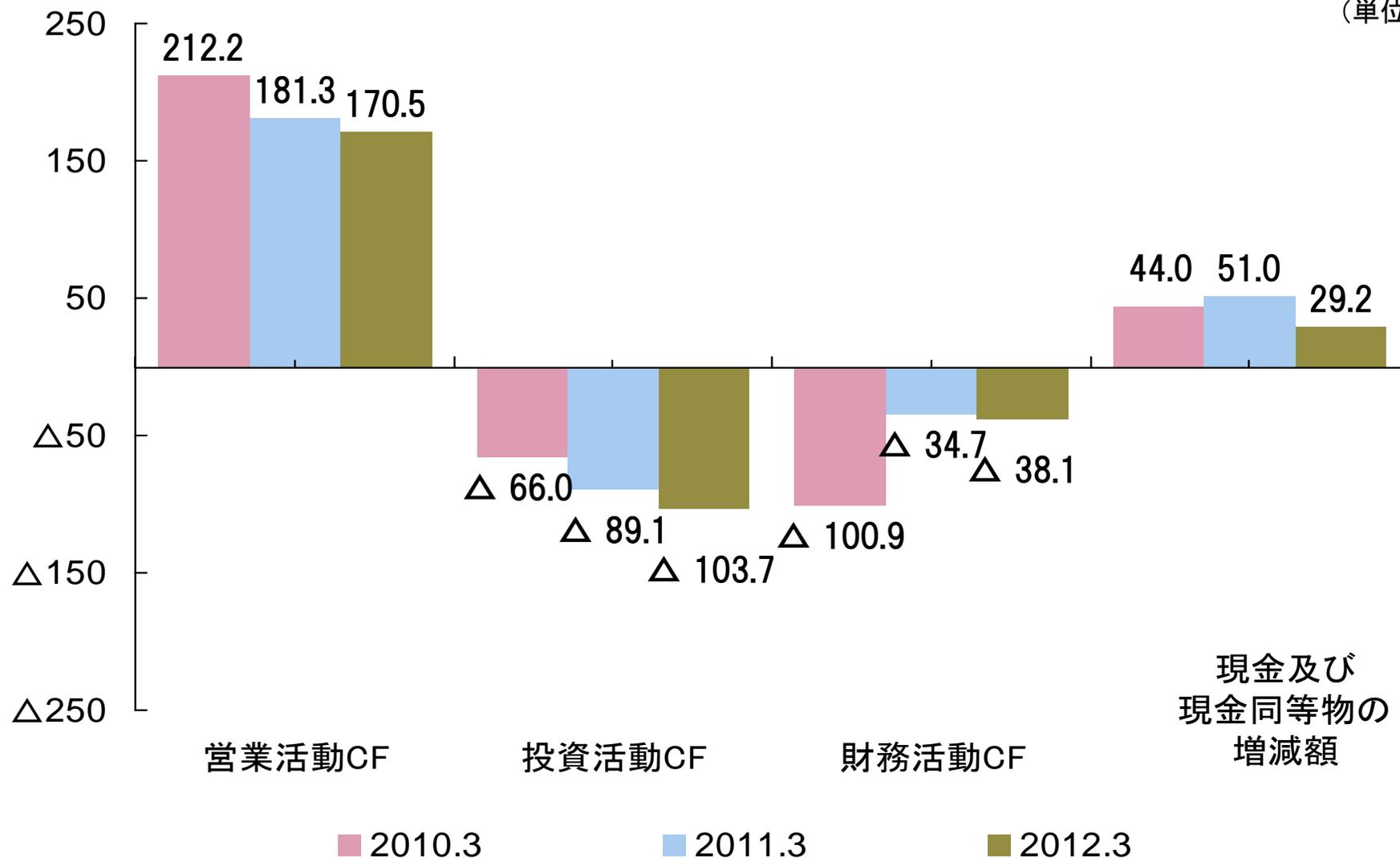
負債・純資産の部



キャッシュフローの推移



(単位:億円)



※現金及び現金同等物の増減額には、現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。

トピックス ① (2012年3月期)



● ヘマトロジー分野、ノンヘマトロジー分野における新製品を発売

➤ ヘマトロジー分野

- ・ フラッグシップモデル「**XNシリーズ**」を発売(日本・欧州)
- ・ 新興国ニーズに適合した「**XS-500i**」(5分類)を中国にて発売開始。順次新興国へ展開

➤ 凝固分野

- ・ 血液凝固測定装置CSシリーズの最上位モデル「**CS-5100**」を発売
- ・ 血液凝固検査に必要な機能を凝集した世界最小クラスの装置「**CA-600シリーズ**」を発売

➤ 生化学分野

- ・ 生化学自動分析装置「**JCA-BM6010/c**」(日本電子)を中国・アジアにて発売

➤ 免疫分野

- ・ HISCL-2000i 専用試薬のラインナップ拡充

● 「サイレントデザイン®」を適用した臨床検査システムのデザインコンセプトが 「2011年度グッドデザイン金賞」を受賞



● 早期乳がんの再発リスクに関する研究用検査受託サービスをスタート



多項目自動血球分析装置 XN-9000

トピックス ② (2012年3月期)



● 試薬生産体制の強化

- **日本国内**の試薬生産拠点 小野工場新工場棟を竣工
- 需要拡大に伴い**中国**・済南工場を拡張



小野工場



済南工場

● 販売・サービスネットワークの充実

- 市場の成長が期待できる**ロシア**に現地法人を設立
- **台湾**の現地法人を完全子会社化し、販売・サービス活動を強化
- **フィリピン**に現地法人を設立し、メトロマニラでの直接販売・サービスを開始

● 当社の血球計数標準器※が北京市医療器械検閲所の国家標準として採用

● 2012年「Global 100」(世界で最も持続可能な100社)に選出

● 日本IR協議会「2011年度 IR優良企業賞」を受賞



標準器



※ 標準器: 血球計数(赤血球数、白血球数)の値を決定するための半自動装置で、血球計数トレーサビリティの頂点に位置づけられるもの

所在地別売上高



● 所在地別売上高 (外部売上)

(単位: 億円)

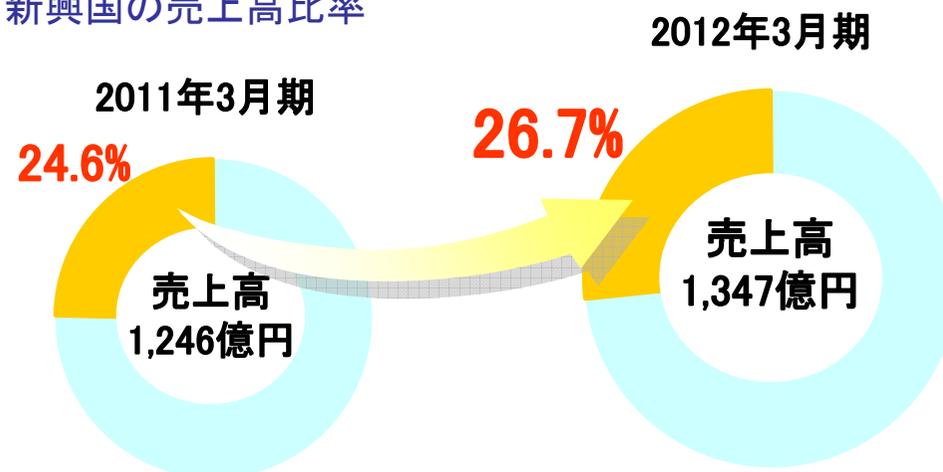
		2012年3月期		前年同期		伸長率	
			構成比		構成比	(円)	(現地通貨)
売上高		1,347.4	100%	1,246.9	100.0%	108.1%	—
所在地別	米州	268.5	19.9%	254.7	20.4%	105.4%	114.3%
	欧州	370.3	27.5%	352.9	28.3%	104.9%	108.9%
	中国	192.9	14.3%	150.9	12.1%	127.9%	132.1%
	AP	78.6	5.9%	71.0	5.7%	110.7%	112.8%
	日本※	436.9	32.4%	417.1	33.5%	104.7%	—

※韓国、アイデックス社等含む

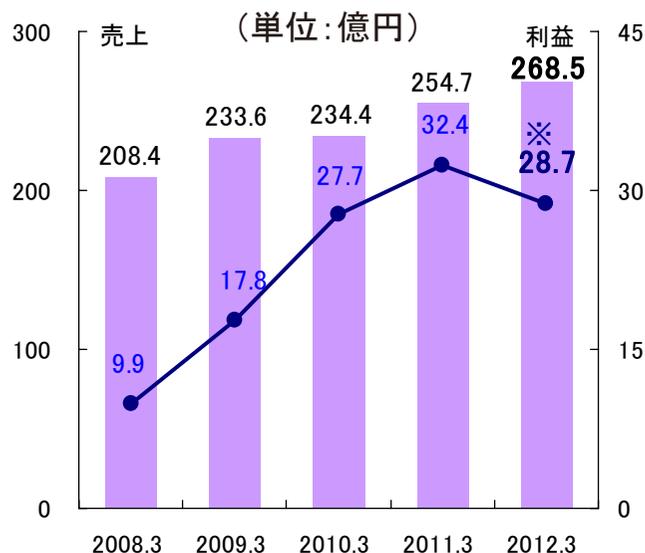
● 為替レート

	2012年3月期	前年同期
1USD	79.1円	85.7円
1EUR	109.0円	113.1円
1RMB	12.4円	12.8円
1SGD	63.1円	64.3円

■ 新興国の売上高比率



米州における取り組み(所在地別)



(単位: 億円)

	2012年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	268.5	254.7	105.4%
営業利益※	28.7	32.4	88.4%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 114.3%、営業利益 95.9%

● 好調な機器売上とそれに伴う試薬やサービス売上の増加が円高の影響を補い増収

- 米国: IHN※1、VISN※2等への販売により、ヘマトロジー分野の売上が堅調に推移
凝固分野は主にCSシリーズのFDA承認遅延が影響し減収
- カナダ: 政府系大型案件の獲得により売上伸長
- ブラジル、メキシコ: 入札案件等の増加により売上伸長

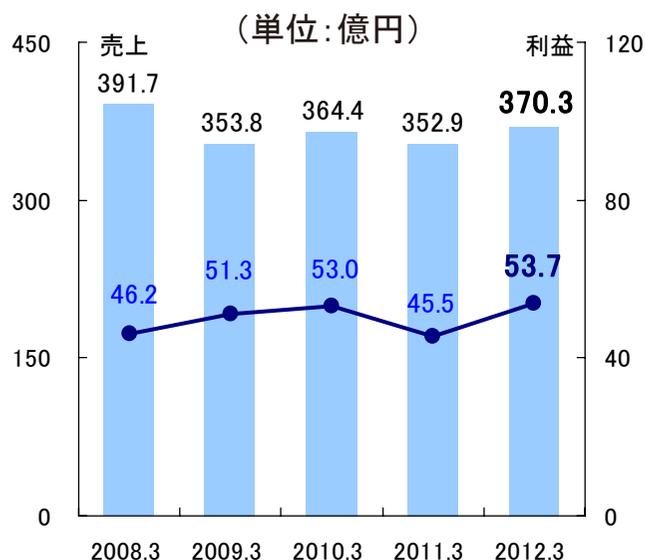


■ 売上高 ● 営業利益
※グループ間取引価格の見直し

● グループ間取引価格の見直し等により営業利益は減少

※1 IHN: 統合ヘルスケアネットワーク
※2 VISN: 米国退役軍人統合サービスネットワーク

欧州における取り組み(所在地別)



(単位: 億円)

	2012年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	370.3	352.9	104.9%
営業利益	53.7	45.5	118.2%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 108.9%、営業利益 122.7%

● 欧州経済減速の影響が一部あるものの、ヘマトロジー分野を中心に好調に推移し増収

- ドイツ: 大手検査センターからの大型案件獲得等により大幅増収
- イギリス、フランス: システム提案を推進し、売上伸長
- スペイン: ライフサイエンス分野の売上が増加するも、政府系病院予算遅延等の影響もあり微減
- 東欧・ロシア: ロシアでの政府系入札案件獲得等により売上が大幅に増加



■ 売上高 ● 営業利益

● 増収効果等により販売・サービス体制の強化に伴う販管費の増加を補い営業利益は増加

中国における取り組み(所在地別)



	(単位: 億円)		
	2012年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	192.9	150.9	127.9%
営業利益*	23.6	24.1	98.3%

■現地通貨ベース 前年同期比 売上高 132.1%、営業利益 101.5%

● 医療需要拡大に伴い、ヘマトロジー、ノンヘマトロジー分野で大幅な増収を継続

- ヘマトロジー分野: 病院へのシステム提案等により、5分類機器売上が大幅に伸長
- 尿分野: 尿搬送システム製品の販売が好調に推移し、機器・試薬ともに売上が増加
- 血液凝固分野: 凝固系に加え線溶系検査項目の需要拡大に伴い機器・試薬ともに売上増加
- 生化学分野: 新製品JCA-BM6010/c(日本電子)の導入により増収

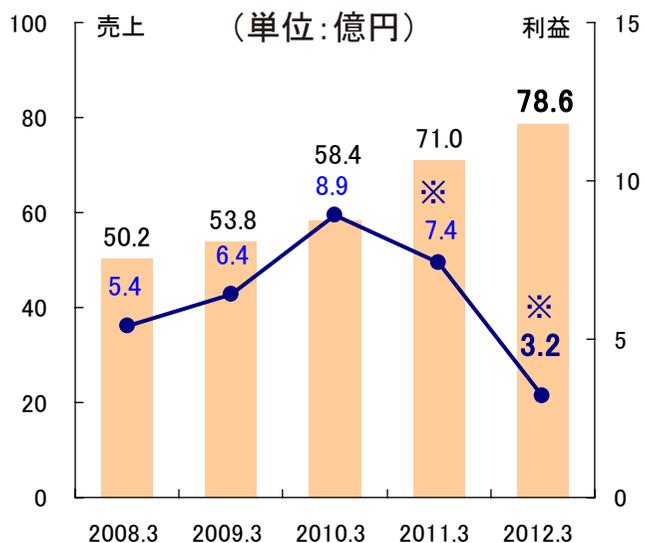
● グループ間取引価格の見直し等により営業利益は減少



■売上高 ●営業利益

※グループ間取引価格の見直し

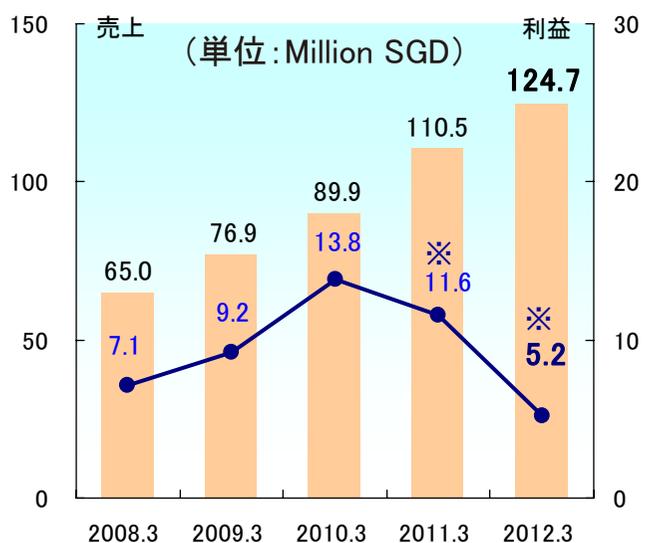
APにおける取り組み(所在地別)



(単位: 億円)

	2012年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	78.6	71.0	110.7%
営業利益*	3.2	7.4	44.2%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 112.8%、営業利益 45.0%



■ 売上高 ● 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

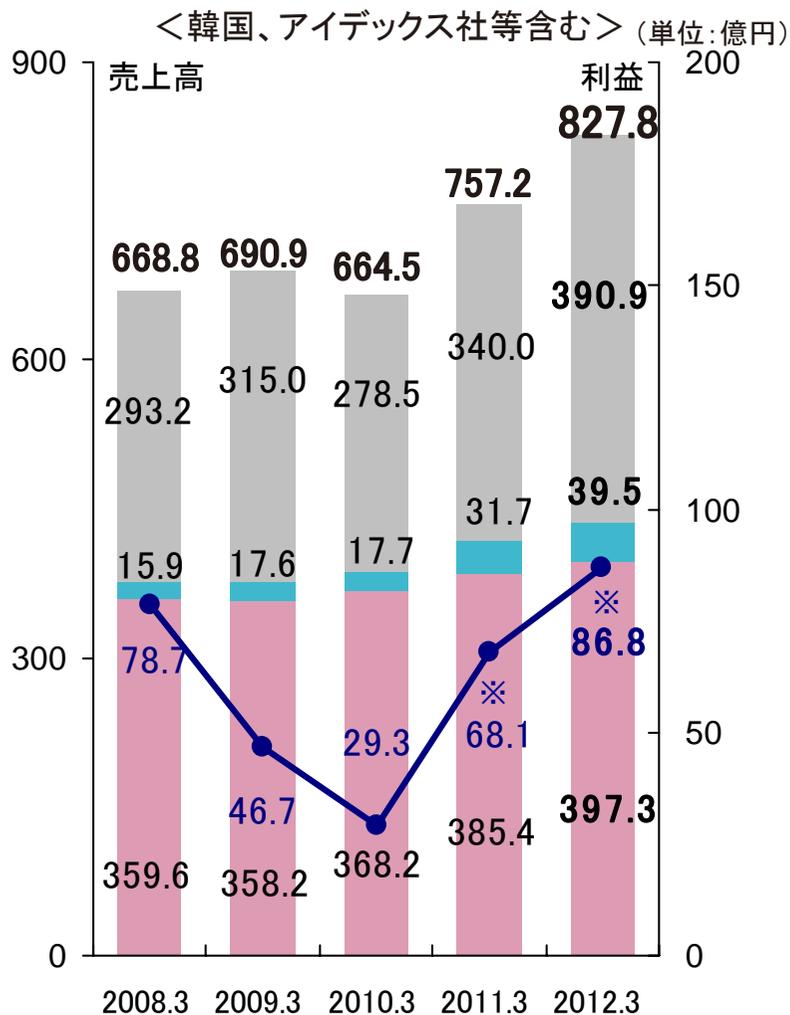
● 東南アジア、南アジア、オセアニアの全エリアで増収

- インドネシア: 政府入札案件が回復
- インド: ヘマトロジー、凝固機器の売上伸張
- オーストラリア: 大手検査センター向け凝固機器大型案件獲得

● ライフサイエンス: タイでAP所在地初のRD-100iを導入

● グループ間取引価格の見直し等により営業利益は減少

日本における取り組み(所在地別)



内部売上高:関係会社への輸出等
 外部売上高:韓国・アイデックス社等
 外部売上高:日本
 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

	2012年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	827.8	757.2	109.3%
外部	436.9	417.1	104.7%
日本	397.3	385.4	103.1%
韓国・アイデックス社等	39.5	31.7	124.4%
内部	390.9	340.0	114.9%
営業利益※	86.8	68.1	127.4%

- **日本:** ソリューション提案を継続して推進し売上が増加
- **アイデックス社:** 動物用血球分析装置のグローバル展開を開始し、販売が好調に推移
- **日本およびグループ関係会社(海外)への売上増加に加え、グループ間取引価格の見直し等により増益**

● 年初予想(期末 15円)に対し 4円の増配

※2011年4月1日付にて、普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。

	中間	期末	年間	配当性向
2012年3月期 (案)	15 円	19 円 <small>※第45回定時株主総 会に付議する予定</small>	34 円	29.1 %
2011年3月期 ※(分割後換算)	28 円 (14円)	32 円 (16円)	60 円 (30円)	27.0 %

Chapter 2

2013年3月期 業績予想

● 世界経済の枠組みの変化

- ▶ 経済危機の懸念の中、フランス、米国、韓国等首脳交代による景気対策への期待
- ▶ BRICsを中心とした内需拡大に伴う継続的な成長

● 公的医療への投資増加

- ▶ 米国： 医療制度保険改革法(国民皆保険制度)の審議が継続中
- ▶ ロシア： 医療分野の近代化プログラムの推進
- ▶ 中国： 医療制度改革を継続 - 12次5ヵ年計画(2011年～2015年)でも医療改革を継続 -
- ▶ インドネシア： 国家中期開発計画において、「医療」を3番目の優先順位として予算配分
- ▶ 日本： 診療報酬の改定 - 全体(ネット)の改定率は「+0.004%」 -

● 競争環境の変化

- ▶ 大手異業種からのヘルスケア事業参入
- ▶ 新興国メーカーの台頭

● 免疫、生化学、血液凝固分野にフォーカスした ICH*ビジネスユニット の設置

- ※ **I** mmunochemistry testing: 免疫検査
- C** linical chemistry testing : 生化学検査
- H** emostasis testing: 血液凝固検査 の頭文字

事業戦略、商品開発、診断薬生産、データ保証等を一貫してマネジメント



- ・バリューチェーンにおける専門性の強化
- ・人材の弾力的活用
- ・シームレスな組織体制

連結 通期業績予想



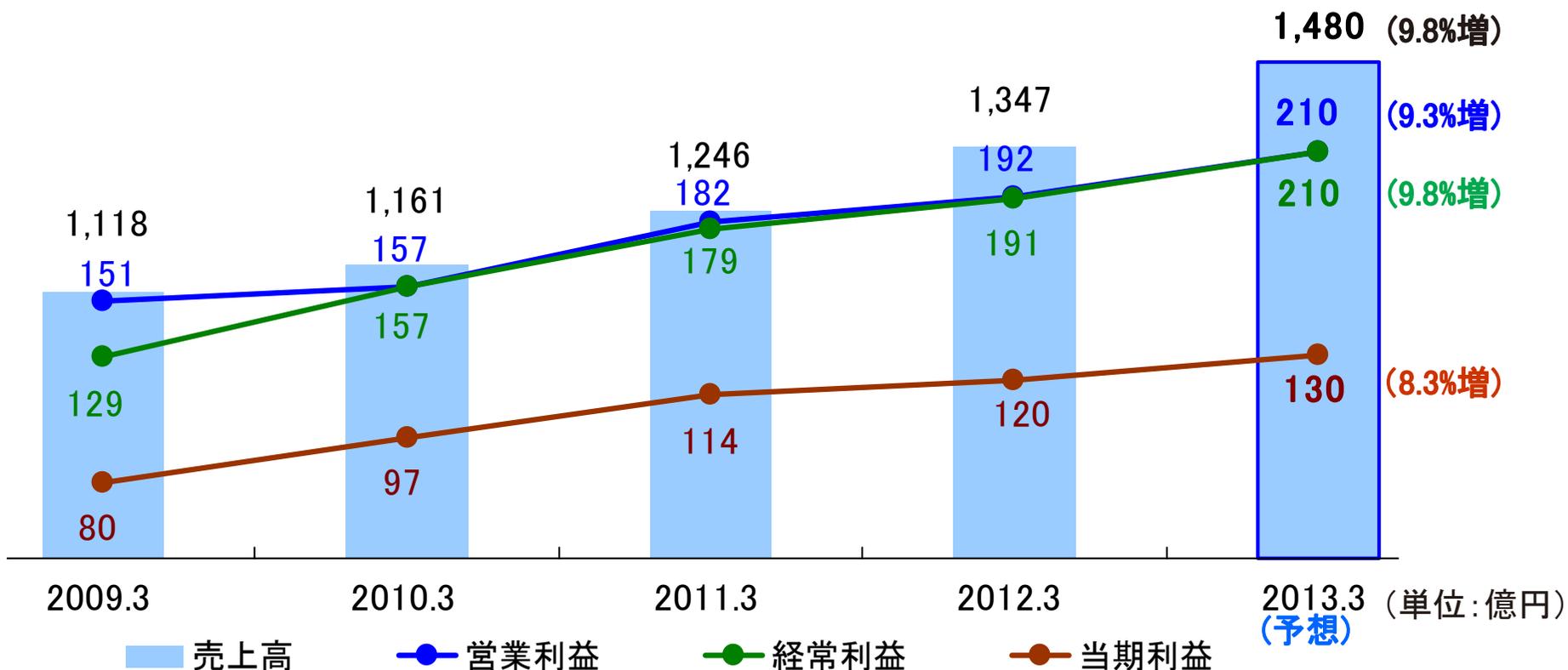
2013年3月期 連結業績予想

● 売上高：1,480 億円 ● 営業利益：210 億円 ● 経常利益：210 億円 ● 当期純利益：130 億円
 ● 営業利益率：14.2% ● 経常利益率：14.2% ● 当期純利益率：8.8%

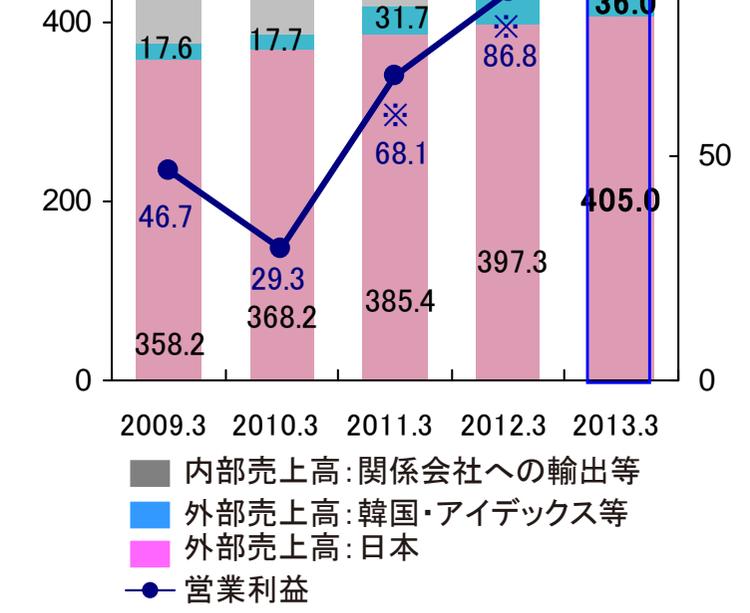
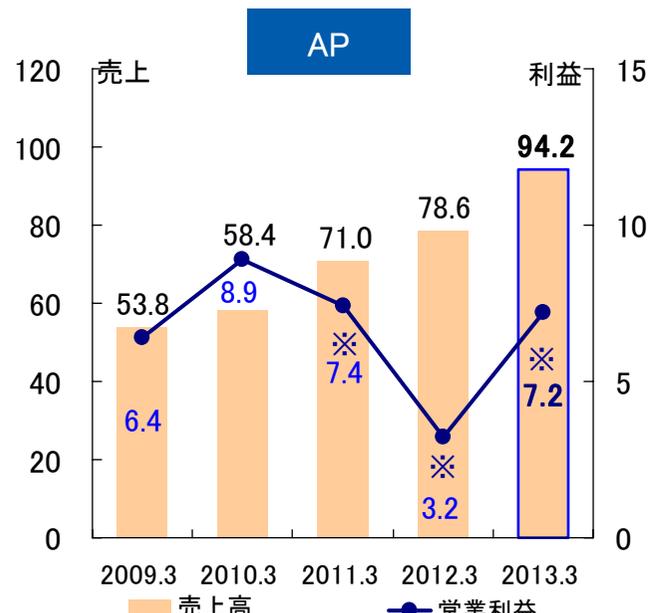
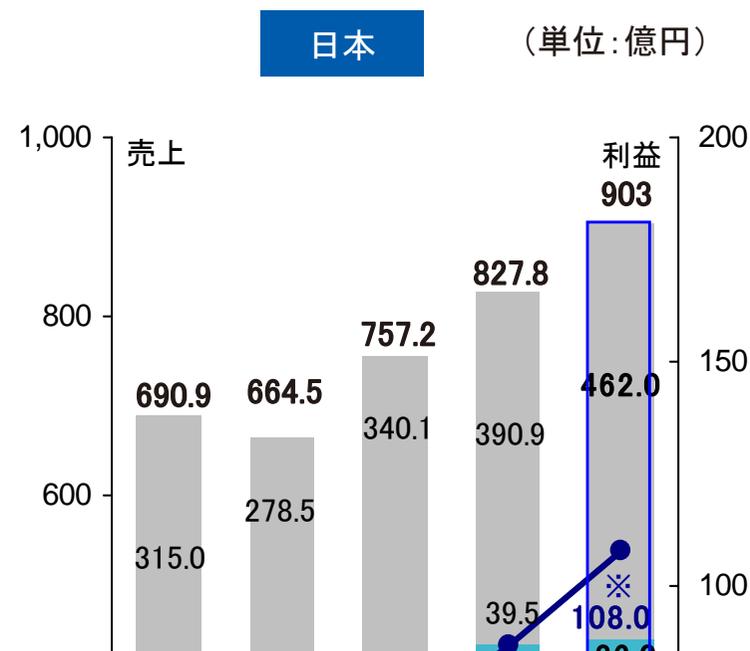
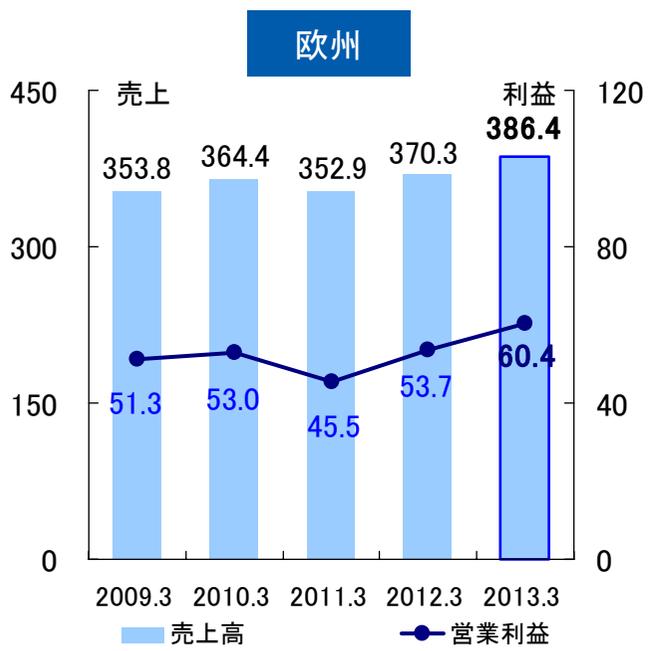
投資計画

● 設備投資：126 億円 ● 減価償却費：73 億円 ● 研究開発費：135 億円

想定為替レート： 1USD = ¥80 1EUR = ¥105
 (2012年3月期実績： 1USD = ¥79.1 1EUR = ¥109.0)



所在地別 通期業績予想



Copyright by Sysmex Corporation

Sysmex Corporation

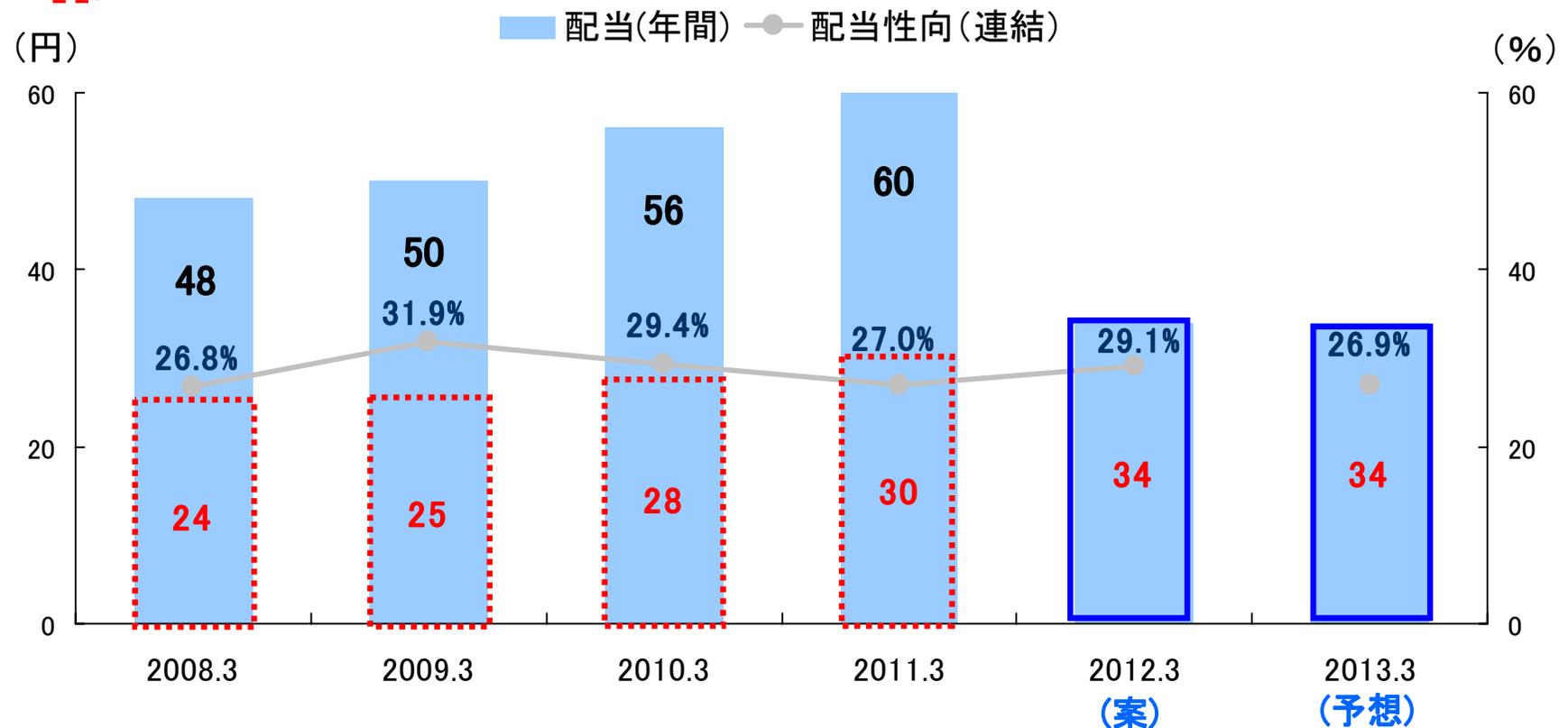
配当政策と配当予想

シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向20%を目処に配当を行ってまいります。



株式分割後ベースに換算した場合の配当金

※2011年4月1日付け:株式分割(1:2)



We Believe the Possibilities.

シスメックス株式会社

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社 IR・広報部

Tel 078-265-0500

メールアドレス info@sysmex.co.jp

www.sysmex.co.jp